

政策課題分野 VII

個性あふれる地域づくり

VII-5 水源地域の総合保全整備

神奈川の水源地域は、多様で豊かな自然環境に恵まれ、清浄な空気や水などを生む母体として、県民一人ひとりの生活に欠かせない、かけがえのない「生命の源泉」という重要な役割を担ってきました。その環境は水源地域住民が深くかかわって保全されてきましたが、近年の都市化の進展に伴う自然への過度の負荷や大気汚染などが増大するとともに、林業経営の停滞や担い手不足、森林と人間とのかかわりの希薄化などによって荒廃した森林が増加するなど、水源地域を取り巻く環境の悪化が顕在化してきています。

このような状況を踏まえ、県民と行政が一体となった、水源地域の総合的な保全に対する取組みが求められています。

●水源地域の総合保全整備

県民共通の財産である水源地域の豊かな自然環境を次世代へ継承し、多様な生物を育む良好な自然環境の保全と良質で安定的な水資源を確保するため、県民と行政が一体となって、環境に対する負荷の軽減を図り、水源地域の森林を守り育てていくとともに、水質保全対策など良好な水環境の創造に取り組みます。また、都市住民の連携と協力を図りながら、水源環境保全にかかわりの深い水源地域に住んでいる人々が生き生きと豊かにくらす地域づくりを進めます。

戦略プロジェクト

- 46 水環境保全対策の推進
- 47 県民との協働による水源の森林づくり
- 48 丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり
- 49 上流と下流の住民で支える水源地域づくり

〈現状と課題〉

- ・生活排水が河川などの水質汚濁の主な原因となっています。
- ・河川などの流域環境の保全を図るため県民、事業者、行政が一体となった取組みが求められています。
- ・ダム貯水池においては、エアレーションによりアオコの大量発生は抑制されていますが、湖の栄養塩類*1の濃度は依然高い状況にあります。また、堆砂が進行し、治水、利水の両面にわたる問題となっています。



桂川・相模川流域協議会の上下流交流事業
夏休み親子体験（相模原市）

〈めざすすがた〉

水源から良質な水が安定的に供給されるなど、良好な水環境が実現されています。

〈目標〉

○生活排水処理施設整備率

(単位：%)

| 実績(2002) | 現状(2003見込) | 2004 | 2005 | 2006 |
|----------|------------|------|------|------|
| 94.7 | 95.2 | 95.8 | 96.3 | 96.8 |

(「大気水質課調べ」より)

〈取り組む事業〉

公共下水道、合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備を支援するとともに、水源となっている河川などの水環境の保全を図るため流域で一体となった取組みを行います。

また、エアレーション装置の稼働や植物浄化施設の整備により、水質浄化を図るとともに、上流域の災害防止や貯水容量の回復を図るため堆積土砂の除去を行い、流入土砂の抑制を進めます。

| No. | 構成事業 | 項目 | 単位 | 現状 (2003見込) | 年度別目標 | | |
|-----|--|---------------------------|-----------------|----------------------------------|--|---------------------------|-------------------------------|
| | | | | | 2004 | 2005 | 2006 |
| 1 | 生活排水処理施設整備の促進 公共下水道、合併処理浄化槽及び農業集落排水施設の整備を支援します。 | 公共下水道普及率 (市町村) | % | 93.7 | 94.4 | 95.1 | 95.8 |
| | | 合併処理浄化槽整備 への支援 (県) | 基 | 985 | 1,062 | 1,203 | 1,282 |
| | | 農業集落排水施設整備 への支援 (県) | | | 調査・設計 | 整備 | 整備 |
| 2 | 流域環境保全行動の推進 本県の水道水源である相模川、酒匂川について、県外上流域を含めて県民、事業者、市町村と一体となって流域環境保全行動を進めます。 | 上下流交流の推進 (県・市町村・民間) | | 都市部シンポジウムの開催 新たな交流促進方策の検討 | 新たな地域協議会の設立 (流域外の地域) 他団体、事業者などとの調整 | 活動の推進 新たな交流促進方策の実践 | 地域協議会相互の連携強化 連携団体などの拡充 |
| 3 | ダム貯水池の水質浄化対策の推進 エアレーション装置の稼働や植物浄化施設の整備により、水質浄化を進めます。 | エアレーション装置の稼働 (県) | 基 | 17 | 17 | 17 | 17 |
| | | 植物浄化施設の整備 (県) | m ³ | 2,800 (10,000) | 1,300 (11,300) | 4,300 (15,600) | 4,400 (20,000) |
| 4 | ダム貯水池対策(ダム貯水池の堆砂対策) 堆積土砂の除去及び流入土砂の抑制により、上流域の災害防止及び貯水容量の回復を進めます。また、堆砂対策を検討します。 | しゅんせつ量 (県) | 万m ³ | 30 | 25 | 25 | 25 |
| | | 堆砂対策の検討 (県) | | 堆砂対策の検証 | 堆砂対策の検証 | 具体策の検討 | 具体策の検討 |

*1 栄養塩類…生物の正常な生育に必要な塩類。植物プランクトンや藻類の栄養になる物質。硝酸塩、亜硝酸塩、アンモニウム塩、リン酸塩、ケイ酸塩など。

47 県民との協働による水源の森林づくり (環境農政部)

〈現状と課題〉

- ・水源かん養など森林の持つ公益的機能を高める適切な管理が求められています。
- ・水源の森林づくり事業への県民の理解と協力が必要となっています。
- ・森林づくりボランティア活動による県民参加の推進や森林活動を行うNPOなどとの協働・連携が必要となっています。



手入れの行き届いた森林

〈めざすすがた〉

水源地域の森林が、県民との協働・連携により、水源かん養など公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」となっています。

〈目標〉

○水源の森林づくりで適切に管理されている森林面積 (累計) (単位：ha)

| 実績(2002) | 現状(2003見込) | 2004 | 2005 | 2006 |
|----------|------------|-------|-------|-------|
| 4,916 | 5,550 | 6,200 | 7,285 | 9,000 |

(「水源の森林推進課調べ」より)

○森林づくりボランティア参加者数 (単年度) (単位：人)

| 実績(2002) | 現状(2003見込) | 2004 | 2005 | 2006 |
|----------|------------|-------|-------|-------|
| 6,400 | 6,550 | 6,700 | 6,850 | 7,000 |

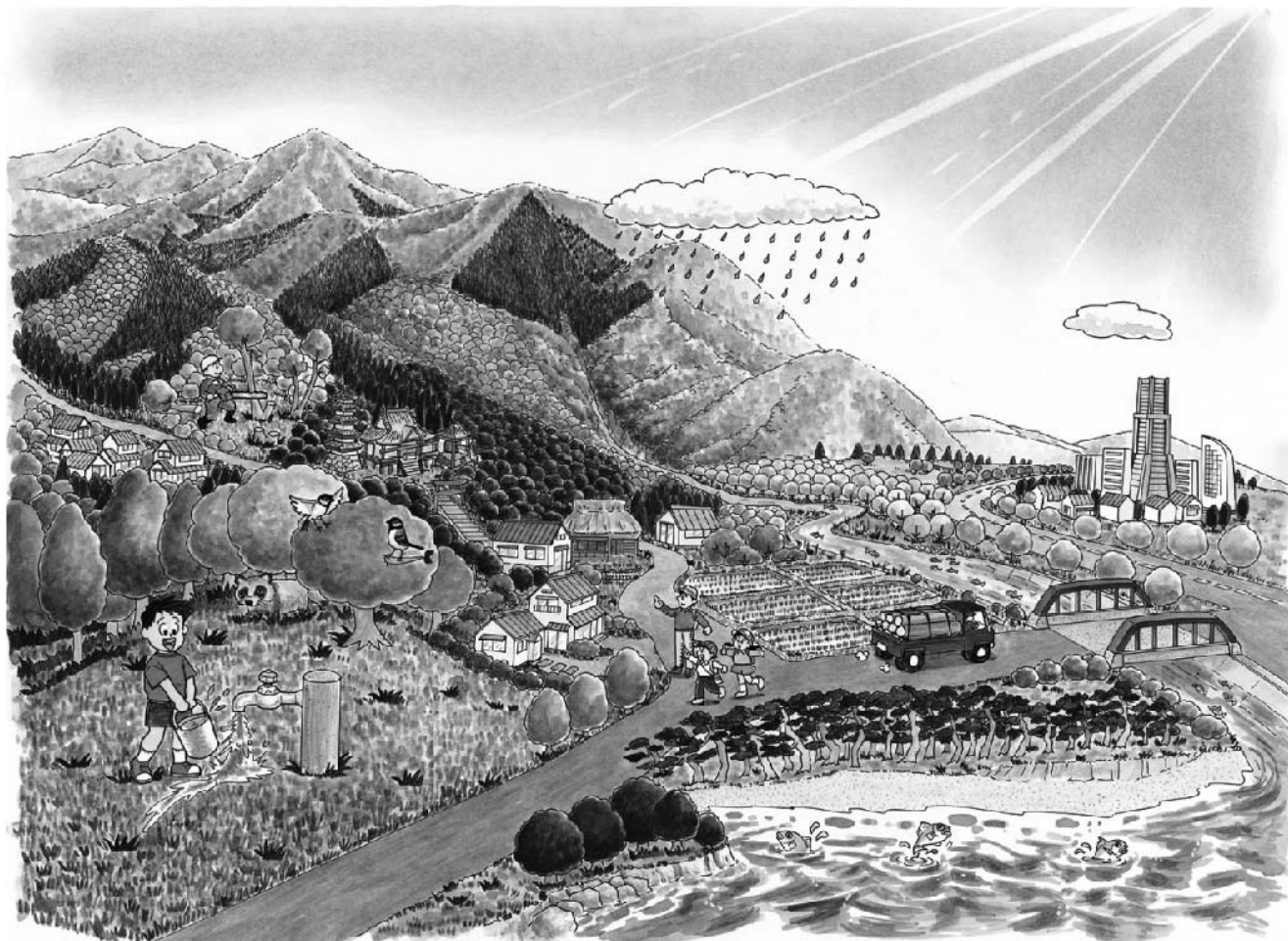
(「水源の森林推進課調べ」より)

〈取り組む事業〉

水源かん養など森林の持つ公益的機能を高めるため、4つの手法(水源分収林、水源協定林、買取り、協力協約)で私有林の公的管理・支援を行い、県民と協働・連携し、「豊かで活力ある森林」づくりを進めます。

| No. | 構成事業 | 項目 | 単位 | 現状 (2003見込) | 年度別目標 | | |
|-----|---|------------------------|----|----------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 2004 | 2005 | 2006 |
| 1 | 私有林の公的管理・支援の推進 水源かん養など森林の持つ公益的機能を高めるため、私有林の公的管理・支援を進めます。 | 私有林の公的管理・支援 (県・市町村) | ha | 634 | 650 | 1,085 | 1,715 |
| 2 | 水源の森林づくり県民運動の推進 水源の森林づくりを推進するため、ボランティア活動を支援します。また、県民の理解と協力を得るため、水源林の集いや観察会、街頭キャンペーンを開催します。 | 水源林の集いなどの開催 (県・民間) | 回 | 5 | 5 | 5 | 5 |

豊かで活力ある森林 (水源かん養や土砂流出、CO₂吸収などの公益的機能が発揮されます。)



森林は、雨水を蓄え、きれいにしながら少しずつ時間をかけて流すので、洪水を防ぎ、川は濁水しにくくなります。

森林では、落葉や下草が雨滴による表土流出を防ぎ、広く深く伸びた木々の根が山崩れを防ぎます。

森林は、二酸化炭素を吸収し、酸素を吐き出して空気をきれいにします。

森林は、生き物たちのすみかやえさ場を提供します。

水源の森林づくりの4つの手法

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 協力協約 | 森林所有者が行う森林整備の経費の一部を助成します。 |
| 水源協定林 | 森林所有者との協定（借り上げなど）により、森林を整備します。 |
| 水源分収林 | 森林所有者との分収契約により、森林を整備します。 |
| 買取り | 貴重な森林や水源地域の保全上重要な森林を買い入れ、保全整備します。 |

48 丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり

(環境農政部)

〈現状と課題〉

- ・ 県民との協働・連携による総合的な自然環境管理が求められています。
- ・ ニホンジカの採食などにより林床植生が衰退し、裸地化などが進行しています。
- ・ ブナ林などの自然植生が衰退しています。
- ・ オーバーユース*1によるゴミやし尿の処理対策などが課題となっています。



立ち枯れるブナ林

〈めざすがた〉

ニホンジカによる被害対策やブナ林などの植生回復など、丹沢大山などの自然環境の保全や再生の取組みに対する県民やNPOなどとの協働・連携が一層進み、多様な生物が育まれる身近な自然が確保されています。

〈目標〉

○植生劣化レベルV*2の管理ユニット*3数(単年度)

(単位：ユニット)

| 実績(2002) | 現状(2003見込) | 2004 | 2005 | 2006 |
|----------|------------|------|------|------|
| 2 | - | - | - | 0 |

自然植生の劣化状況を管理ユニットごとにI~Vに分類した。
 (「神奈川県ニホンジカ保護管理計画」より)

〈取り組む事業〉

採食により林床植生の劣化の主要な要因となっているシカの個体数管理や植生保護柵の設置などを進め、植生の回復やシカ個体群の維持を図ります。また、施策の統合化を図り、常に点検・検証して見直す柔軟な管理を行うなど、新たな自然環境管理システムを構築します。

さらに、自然環境の保全と再生のための幅広い取組みを県民との協働・連携で具体化させていくため、県民の活動拠点としての施設整備を行います。

| No. | 構成事業 | 項目 | 単位 | 現状(2003見込) | 年度別目標 | | |
|-----|---|-------------------------------|----|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | | 2004 | 2005 | 2006 |
| 1 | 自然環境管理システムの整備 自然環境総合調査を実施し、新たな自然環境管理システムに基づいた計画を策定します。 | 自然環境総合調査の実施 (県・民間) | | 体制など準備 | 総合調査の実施 | 総合調査の実施、結果解析 | |
| | | 第2次丹沢大山保全計画(仮称)の策定 (県・民間) | | | | | 計画策定 |
| | | 自然環境保全センターの整備 (県) | | 基本構想 | 基本計画 | 調査設計 基本設計 | 実施設計 |
| 2 | ニホンジカなどの保護管理の推進 防護柵の設置など被害防除対策、植生回復などのための個体数管理及び生息状況をはじめとするモニタリング調査などを実施します。 | 防護柵の設置 (県・市町村) | km | 35 (58) | 33 (91) | 10 (101) | 10 (111) |
| | | 植生回復などのための個体数管理 (県・市町村・民間) | 頭 | 807 | モニタリング結果に基づく管理捕獲など | モニタリング結果に基づく管理捕獲など | モニタリング結果に基づく管理捕獲など |
| | | 生息状況などモニタリング調査 (県・市町村) | | 調査実施 | 調査実施 | 調査実施 | 調査実施 |
| 3 | ブナ林・林床植生の保全とオーバーユース対策 ブナ林衰退機構の解明、植生保護柵の設置及び環境配慮型トイレの設置などを実施します。 | ブナ林衰退機構解明 (県) | | 調査・分析 | 中間とりまとめ | 調査・分析 | 総合解析 |
| | | 植生保護柵の設置 (県) | ha | 3.2 (19.0) | 2.5 (21.5) | 8.5 (30.0) | 12.8 (42.8) |
| | | 環境配慮型トイレの設置 (県) | 箇所 | 1 (5) | 1 (6) | 1 (7) | 1 (8) |

*1 オーバーユース…利用者の集中による過剰利用

*2 植生劣化レベルV…自然植生の質が低下し、ほとんどのササや灌木がわい化しており、樹皮食い、不嗜好性植物がともに見られる状態。最も劣化が進んでいる状態

*3 管理ユニット…自然植生やシカの生息密度情報などを集積・管理する単位。丹沢大山地域を尾根や沢などの地形を考慮して56の管理ユニットに細分化しています。

〈現状と課題〉

- ・水源地環境は、ダム湖を有する水源地域の努力のみでは保全できない状況にあります。
- ・豊かな水源地環境を保全するためには、都市地域住民の理解と協力が不可欠となっています。
- ・都市地域住民の理解を深めて連携していくための機会や拠点となる施設が不足しています。



上下流間交流事業（自然観察会）

〈めざすすがた〉

水の恵みや自然、伝統・文化などの地域資源を生かしながら、都市地域住民と交流することにより水源地域の住民が生き生きと豊かにくらせるようになっています。

〈目標〉

○水源地域交流イベントなどへの参加者数（累計）

（単位：人）

| 実績(2002) | 現状(2003見込) | 2004 | 2005 | 2006 |
|----------|------------|---------|---------|-----------|
| 244,507 | 345,700 | 468,600 | 724,500 | 1,000,000 |

*目標数値は、2001年度からの累計

〈取り組む事業〉

地域資源を活用した交流イベントを開催するとともに、上下流住民の交流・連携を目的とした交流事業などを展開し、都市地域住民が水源地環境の大切さを理解するための機会を提供していきます。そのために必要な拠点として交流施設の整備を支援します。

| No. | 構成事業 | 項目 | 単位 | 現状 (2003見込) | 年度別目標 | | |
|-----|--|---|----|----------------|----------|----------|----------|
| | | | | | 2004 | 2005 | 2006 |
| 1 | 水源地域交流の里づくり 鮎釣り、陶芸、竹細工などの名人・匠など、地域資源を活用した各種交流イベントを行います。 | 交流の里でのイベントの開催 (県・町村・民間) | 回 | 33 | 37 | 42 | 43 |
| 2 | 水源地域上下流間交流の促進 上下流の自治体の協力による交流事業の開催、水源地域特産品（やまなみグッズ）の販売促進や水源地域ふるさと情報ホームページの構築・運用に取り組みます。 | 交流事業の開催 (県・町村・民間) | 回 | 12 | 16 | 16 | 16 |
| 3 | 交流基盤の整備 水源地域7町村*1が実施する交流促進施設、情報提供施設の整備を支援します。 | 水源地域7町村が整備する交流促進施設、情報提供施設の整備 (県・町村・民間) | 施設 | 1 (1) | 4 (5) | 2 (7) | 2 (9) |

*1 水源地域7町村…山北町、愛川町、清川村、城山町、津久井町、相模湖町、藤野町